

## 岩槻新校基本計画検討委員会（第3回） 議事録

- 1 日 時 令和5年10月11日（水） 午後3時30分開会  
午後4時30分終了
- 2 会 場 県立岩槻高等学校会議室
- 3 出席委員 栗藤委員長、持田（貴）副委員長、前島副委員長、伊藤委員、鷺田委員、藤原委員、中村委員、渡辺委員、持田（真）委員、池田委員、赤池委員、山谷委員、落合（範）委員、天野委員、中澤委員、山下委員、小林委員
- 4 事務局 魅力ある高校づくり課 中島、坂本、高辻、橋本

### 5 協 議 「岩槻新校（仮称）基本計画（案）」について

栗藤委員長 それでは次第2、協議に入ります。本日の協議に当たって、資料の概略を説明します。前回までの本委員会での協議及び新校準備委員会での意見を踏まえ、事務局にて【資料1】岩槻新校（仮称）基本計画（案）を作成しました。本資料が最終的に新校の基本計画（案）となっていく予定ですので、御承知おきください。本日の委員会における協議と、この後開催が予定されている新校準備委員会での意見を頂いた後、教育委員会での報告、教育長の決裁を経て、正式に策定していきたいと考えています。なお、前回お示しした新校基本計画骨子（案）については、資料1の中に溶け込んでおります。両委員会等を経て修正した箇所については、（参考資料1）岩槻新校基本計画骨子（案）修正一覧に記載していますので、適宜御参照ください。それでは、【資料1】岩槻新校（仮称）基本計画（案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局 （岩槻新校（仮称）基本計画（案）のうち概要、1 策定に当たっての基本姿勢、2 基本的枠組み、3 校名について説明）

栗藤委員長 事務局と打合せをさせていただき、四つのパートに分けて進行していきたいと考えております。一つ目のパートは1から3まででございました。何か御質問、御意見がございましたら、お願いします。藤原委員、お願いします。

藤原委員 岩槻高校の藤原です。2の(4)についてですが、令和6年度又は令和7年度に岩槻高等学校へ入学した生徒は、令和8年度から新校の生徒となるということですが、第1期の卒業生は、令和6年度に入学した生徒になるということでしょうか。

栗藤委員長 事務局、お願いします。

事務局 そうですね、令和6年度に入学した生徒は令和8年度に3年生となっておりますので、そのときには校名が変わって、第1期の卒業生は令和6年度の入学生になるものと考えております。

藤原委員 私が言いたいのは、私は蓮田松韻高校にいたものですから、そのときの3年生はずっと蓮田高校のままだったと記憶しています。今回についてはこういうふうになるということでしょうか。

事務局 そうですね、校名はまだ決まっていないのですが、令和6年度、7年度の入学生がいて、令和8年度に1年生が入ってくるわけですが、校名が8年度の時点で変わりますので、それをもって卒業となりますので、新校の名前で卒業になります。

藤原委員 6年度に、今度新しく入ってくる生徒たちにはそういった説明はあるのでしょうか。

事務局 事前に学校説明会等で、そのようなことも説明していただけると、よろしいのかと思います。こちらから全県的にアナウンスということは、今のところはまだ考えていない状況です。学校の方で、令和6年度、7年度に入学する生徒につきましては、3年次、卒業時には新校の名前と言いますか、教育課程は一切変わらないのですが、名前の方は新しい名前、まだ決まっていないので今は仮称となっておりますが、その名前で卒業を迎えることとなります。

栗藤委員長 よろしいでしょうか。

藤原委員 はい。

栗藤委員長 確かにいきいきの時代には、様々な統合のパターンがありました。学校によっては、一時的に、同じ施設内に2枚の看板、校銘板がついていて、上尾沼南、上尾鷹の台といったように2つの名前があったということもあります。いろいろな統合のパターンがあるのですが、今回は埼玉県の方で、このような統合の仕方を計画して、それに従って粛々と進めていただいているということになりますので、ここに記載があるようなスタイルになってまいります。ですので、今、藤原委員から御指摘があった、入学する生徒たちへの周知というのは、大変重要なことだと思います。学校説明会等は既に行われていますので、そういったアナウンスをお願いしたいと思います。他にございますでしょうか。学科名につきましては、この検討委員会でいただいた御意見を最終的には採用するという形になっておりますので、皆さんの同意も得られるのかなと想着ているところなのですが、この辺りもよろしいでしょうか。冒頭にも申し上げましたが、本日、ある程度この基本計画が固まるということですので、もちろん、後から前に戻って意見を言いたいとか質問があるということでしたら受け付けたいと思いますが、是非、言い残しがないようにお願いしたいと思います。

渡辺委員 先ほどの質問と関連するのですが、校名が変わるということは、学科名も3年生になったら変わるということでしょうか。国際文化科に入学した生徒たちは、3年生になると国際教養科に変わるということでしょうか。

栗藤委員長 いえ、それは、入学したときのカリキュラムがそのまま生きますし、学科名もそのままです。ただ、学籍上、その学校の校名が変わるために、卒業時には新しい学校での卒業ということになります。

渡辺委員 校名だけが変わるということでしょうか。

栗藤委員長 新しく入学してくる生徒は制服も新しくなったりしますが、在校生については制服もそのままですし、基本は、校名が変わるだけだと思います。

渡辺委員 ありがとうございます。

栗藤委員長 持田委員、お願いします。

持田（真）委員 今話を聞きまして、令和6年度入学生が卒業するときには校名が変わるということで、藤原委員からもありましたが、多くの学校で学校説明会を既に終えているという状況で、中学生に伝えられていないということがありまして、これから第3回学校説明会、入試個別相談会しか残っていないのですが、その中で周知徹底していくのは結構難しいかなというか、どうしようかなと悩んでいるところです。不満のようなものは出ないとは思っていますが、知らなかったという声をできる限り減らしたいと思うところで、何かお考え等があればと思います。

栗藤委員長 第1期のときの例ですが、この後、校名の検討という段階に入りますと、校名のアイデアを募集するためにチラシのようなものが出たりしますから、そういったものが活用できるのかなと思ったりしています。事務局から対応案みたいなものはありますか。

事務局 この後、11月に入試の説明会がありまして、また、義務教育指導課にもアナウンスして、なるべく周知できるようにしていきたいと思いますが、必ず全ての中学生に周知できるかは分かりませんが、努めてまいりたいと思います。学校にも是非、御協力いただければと思います。

栗藤委員長 基本計画が順調に固まっていますと、正式にそういったアナウンスもホームページ上などでも打てるのですが、なかなかこの間は、そういう方向ですという言い方にしかならないかもしれません。ですが、来校される中学生にはそのようなお話をさせていただきますと有り難いと思います。他、いかがでしょうか。それでは、前に戻ることもできることとして、四つのパートのうちの二番目のパートにいきたいと思います。事務局からお願いします。

事務局（岩槻新校（仮称）基本計画（案）のうち4 基本理念、5 教育活動等の基本方針(1)基本姿勢及び(2)教科指導、6 教育活動等の基本方針の具現化(1)教科指導について説明)

栗藤委員長 資料については参考資料1を御覧いただければと思いますが、これが基本計画（案）に溶け込んでいるということになります。御意見、御質問等をいただければと思います。参考資料1をみていただくと分かるように、右側にある●が準備委員会で出た御意見となります。○が皆さんから出た御意見ですが、準備委員会から御意見が多く寄せられたことについて修正をかけている箇所もありますので、地域の皆さんの期待といったものを、是非受け止めていただければと思います。よろしいでしょうか。それでは先に進みます。事務局から説明をお願いします。

事務局（岩槻新校（仮称）基本計画（案）のうち5 教育活動等の基本方針(3)生徒指導、(4)進路指導及び(5)生徒募集、6 教育活動等の基本方針の具現化(2)生徒指導、(3)進路指導、(4)生徒募集及び(5)その他について説明)

栗藤委員長 一部、競争率という言葉が出てきましたが、これについては委員が発言

したまま記載しており、いわゆる志願倍率のことを指しているということです。念のため御説明いたしました。それでは、御質問、御意見等がございましたら、お願いいたします。藤原委員、お願いします。

藤原委員 進路指導の基本方針イについて質問なのですが、具現化イの方では、私立中堅大学から国公立大学まで対応した、という表現は無くして、生徒の進路希望に応じた、となっているわけですが、基本方針イでは、大学進学を中心に、という表現は残っています。これは残すのでしょうか。この後生徒募集する中で、どういう生徒が来るかも分かりませんが、私はそんなに大学一辺倒でなくても良いのかなど。専門学校的需求も多いので、そういったことを考えると、大学進学を中心にと言わなくても、一人一人の進路希望に応じた、だけでも良いのではないかと思います。

栗藤委員長 この部分については、基本計画検討委員会でいろいろと御意見をいただいたところで、この私立中堅大学という表現が余りよろしくないのではないかとという御意見をいただいたところかと思えます。進学、あるいは大学進学といったところが争点となっていたか、その辺りの考え方について、事務局からありますか。

事務局 基本方針イについては、岩槻高校案を生かしておりますして、岩槻高校案では大学進学を中心に、と書かれていて、具現化については、その中でも、私立中堅大学を目指すといったニュアンスの表現だったかと思えます。事務局としては、大学進学を中心にという表現は残しながら、私立中堅という表現をぼかしたというところがございます。岩槻高校として、ここをどうしても変えたいということであればまた改めて検討ですが、基本的にはこれまでの岩槻高校案を生かしていますので、このとおりでいかがかというところはございます。また、生徒の進路希望に応じた、というところは、新校準備委員会で、岩槻北陵高校の実態も踏まえて進学に限らずに、という御意見もありましたので、そういったところも含めて、進路希望に応じたという表現に変えております。

栗藤委員長 よろしいでしょうか。

持田（貴）副委員長 骨子案を作る際、一番最初に議論したときに、両校の状況ということで、本校は大学進学がパーセンテージとしては60%近くいっていますので、大学進学を中心にという表現がどうかということはありませんけれども、二つの学校が一緒になるときに、それぞれの学校の特色を持ってきて幅広く、という意味と捉えています。そういったニュアンスでやっていくという感じかと思っています。

栗藤委員長 他にございますか。それでは、先に進みたいと思います。最後のパートについて、事務局からお願いします。

事務局 （岩槻新校（仮称）基本計画（案）のうち7 開校準備、8 対象校における教育活動、9 教育環境の整備、10 付随する事項について説明）

栗藤委員長 最後のパートについて、事務局から説明がありました。まず、御意見、御質問等をいただければと思います。

池田委員 岩槻北陵高校教務主任の池田です。開校準備について、まず確認なのですが、(1)に整備期間は令和6年度から令和9年度までとあり、下の方で入試関係について、岩槻北陵高校が全面的に協力して行うと書いてありますが、この協力すると

というのは、令和7年度の入学生からということでしょうか。整備期間が令和6年度からとあるので。まず確認です。

栗藤委員長 事務局からお願いします。

事務局 令和8年度の入試業務から、ということです。

池田委員 分かりました。そうしますと、令和8年度の入試からとなりますと、岩槻北陵高校は、3年生だけが在籍しているという状況だと思います。であると、校内では通常どおり授業を行っているということになるかと思いますが、その認識でよろしいでしょうか。

事務局 そのとおりでございます。

池田委員 その中で、全面的に協力して行うというイメージが湧かなくて、どういったところで我々は協力すれば良いのでしょうか。漠然とした質問で申し訳ないのですが、お伺いできればと思います。

栗藤委員長 事務局、お願いします。

事務局 今の御質問にどこまでお答えできるか分かりませんが、参考までに第1期の児玉新校、飯能新校の例があります。ただ、第2期とは状況が違いまして、3学年全て揃った状態での統合だったので、若干状況は異なるのですが、例えば飯能新校ですと、飯能南高校は入試の日に授業をやっておりました。その中で、管理職が入試の選抜会議の方に参加して、ということでした。あるいは、生徒募集のところで、実際に当日はなかなか難しいかもしれませんが、協力する。あとは、児玉新校でもあったのですが、入試会場を間違ってしまう可能性もありまして、例えば、児玉新校ですと、児玉高校という校名になったのですが、会場は児玉白楊高校で、旧児玉高校に間違ってきてしまうといった生徒も想定できましたので、入試当日の案内、会場は児玉白楊高校ですよというところをアナウンスしていただいたりだとか、細かいところですが、そういったところのお手伝いですね。他にもいろいろと想定できると思うのですが、そこは両校でしっかり検討していただければと思っております。

池田委員 分かりました、ありがとうございます。

栗藤委員長 他、いかがでしょうか。最初のパートもそうなんです、このパートは初出しの部分ですので、過去のを既に御覧になっていた方もいるかと思いますが、改めて読んでいただいて、何か御質問等がありましたら、この際ですので、お願いできればと思います。よろしいでしょうか。それでは、このパートに限らず、最初から通して、ここを聞いておけば良かったということがあれば、お願いしたいと思います。渡辺委員、お願いします。

渡辺委員 文言とは関係ないのですがよろしいでしょうか。実はですね、岩槻に住んでいらっしゃる方のSNSとかそういうので、最近、岩槻高校の前は非常に工事が多い、新校ができるから新しい校舎を建てるとはではないかとか拡張するのではないかと、私もそれに答えられないので無言で何も言わないのですが、県の方で何かそのような考えがあるのかですとか、あるいはせっかく土地が空いているのであれば、今すぐく入口が混んでしまって、交通事故が起きないか危ない状況です。だっ

たらもう少し、正門を別に位置に変えたりだとか、そういうことも含めて環境の整備とか施設の整備というのは考えられるのか。あるいはお金が無いから今のままですよということなのか、お聞きしたいと思います。

栗藤委員長 事務局からお願いできますか。

事務局 十分にお答えできるか分かりませんが、お答えさせていただきますと、新校の設備につきましても、既存の校舎を利用するというのを原則的には考えているところです。そのため、既存の校舎の改修等で対応していくことを想定しているところです。新棟を建てるためには何か壊さなければならず、建替えという話になってくるので、なかなかそこまでは難しいのかなと考えています。具体的にどういう改修をしていくのかにつきましても、今後の予算編成等によって議論して決めていくことになるので、現時点では、はっきりしたことが申し上げられないのですが、予算が獲得された場合は、学校とも相談しながら設計等を考えていくことになるかと思いますが、その中である程度は、どういう改修にしてくのかということを決めていくことができると思います。今、具体的にこうしますということはなかなか申し上げられないところです。

栗藤委員長 こういう回答をせざるを得なくて、今回提案している基本計画（案）の一番最後のところですよね、9番に、「必要な予算の確保に努める」とあります。これは、私たちとしては財政当局と折衝して、最大限、予算を取れるように頑張っていきたいと思っているところですが、何分、埼玉県の台所事情等もありますので、どれだけ期待に応えられるかといったところは不透明な状況ではあります。ですが、精一杯頑張りたいと思っております。基本的に今日のゴールは、この基本計画（案）を次の準備委員会に送るために、ここで固められるかということになります。この内容について、是非、最後に疑問を解消したいとか意見を述べたいという方がいましたら、お願いしたいと思います。時間は90分取ってありますが、全部使う必要もないと思っております。今順調に協議が進んでおりますが、そろそろ意見も出尽くしているようなので、そんな投げかけもさせていただきました。いかがでしょうか。落合委員、お願いします。

落合（範）委員 細かい文言のところで恐縮なのですが、参考資料1の6ページ、進路指導の具現化について、ウの修正いただいた部分なのですが、英語に関わる各種資格という文言が、英語をはじめとした様々な資格と修正されているかと思いますが、英語に関わらず様々な資格をとという意見を踏まえているのは分かりますが、修正後の文言が、英語をはじめとした様々な資格ということで、英語が資格になってしまっているの、文言としては、英語をはじめとした様々な言語に関する資格という表現が正確なのかなと思います。

栗藤委員長 はい、事務局からいかがでしょうか。

事務局 御指摘ありがとうございます。御意見については確におっしゃるとおりだと思います。いただいた御意見を踏まえ、検討し、整えてまいりたいと思います。

栗藤委員長 繰り返しになりますが、今日が最後の機会と考えておりますので、今のよう形で、部分的な表現の揺らぎみたいところがありましたら、御指摘いただ

ければと思いますが、最後には事務局の責任校正という形で、修正をかけるかかけないかの判断も含めてやらせていただきたいと思います。ただ、そういった視点というのは大変貴重で、有り難いところでございますので、他の委員においても、そういった文言の揺らぎや表現上の問題で、これはと思うところがあれば、言っていたら、我々の方で最後校正をさせていただきたいと考えております。いかがでしょうか。山谷委員、お願いします。

山谷委員 岩槻北陵高校の山谷です。今のところなのですが、進路指導の具現化ウの部分ですが、英語に関わる各種資格という文言を、英語をはじめとした様々な資格という文言に変えたということは、英語に関わらないというだけでなく、言語にも限っていないのではないかと思います。なので、他の言葉を入れてしまうと、別の誤解が生じてしまうのではないかと思いますので、その辺については工夫された方が良くと思います。

栗藤委員長 ありがとうございます。では、その辺りも含めて、事務局で調整していただければと思います。他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、意見が出尽くしたと判断させていただきまして、協議を終了させていただきたいと思っております。今回の開催をもちまして、当初予定しておりました3回の委員会が終了しました。振り返りますと、昨年度の後半からスタートしたわけですがけれども、1年弱にわたって御協力いただきまして、本当にありがとうございました。本日御議論いただいた、岩槻新校（仮称）基本計画（案）については、今後開催が予定されている第3回新校準備委員会でも御意見を頂戴して、作成を進めてまいります。皆さんには、この委員会への出席はもとより、骨子案の検討や議事録の確認など、お忙しい中、様々な面で御対応いただき、本当にありがとうございました。今後も、特に来年度、新しい学校の教育課程や内規、制服など、ここには記載があってもまだ決まっていないことがたくさんあります。そうしたことの検討でお世話になっていくこととなりますが、引き続き、よろしくお願ひしたいと思っております。